

G20エネルギー転換大臣会合

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

研究理事 久谷 一郎

多様な国の集まり

G20

インド、インドネシア
南アフリカ共和国
ブラジル、アルゼンチン
欧州連合

OPECプラス

サウジアラビア、

ロシア

中国

上海協力機構

OECD / IEA

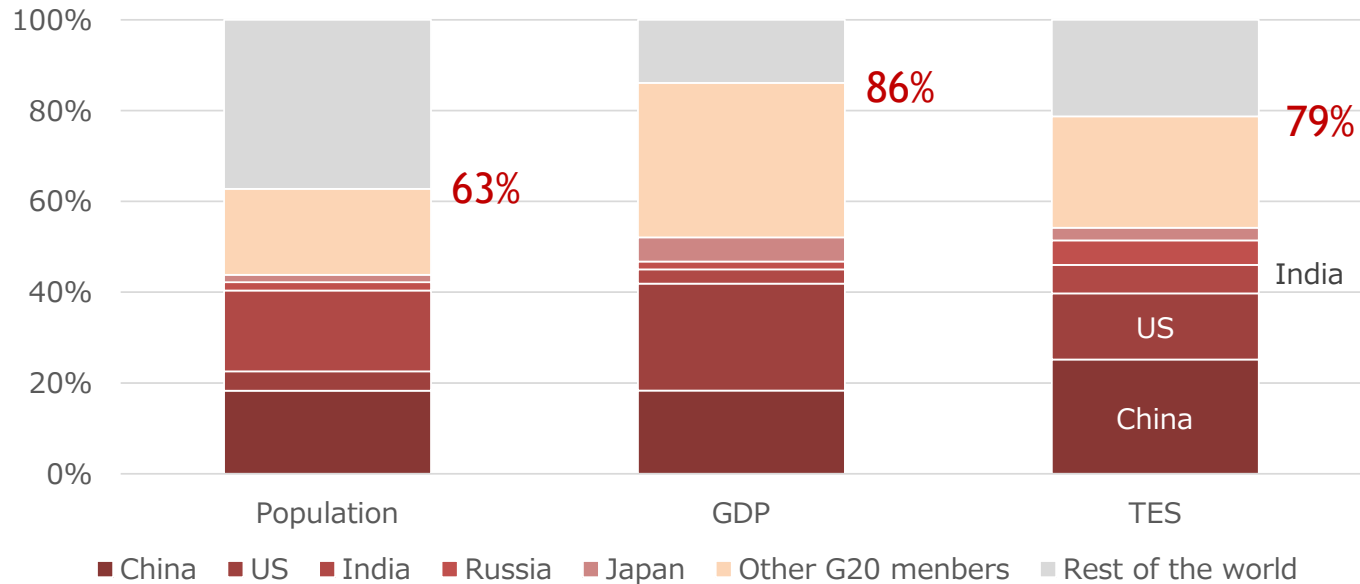
韓国、オーストラリア、トルコ、メキシコ

G7

カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国

参考) G20の経緯と規模

- 1997年のアジア通貨危機の経験から、国際金融システムの議論を行うためにはG7だけでは十分でなく、主要な新興市場国の参加が重要であるとの認識が高まった。
- 1999年6月のG7財務大臣会議において、G20財務大臣・中央銀行総裁会議の創設で合意。1999年12月の第1回以降、毎年開催。
- リーマン・ショックを契機とした経済・金融危機に対処するため、2008年に初の首脳会合開催。

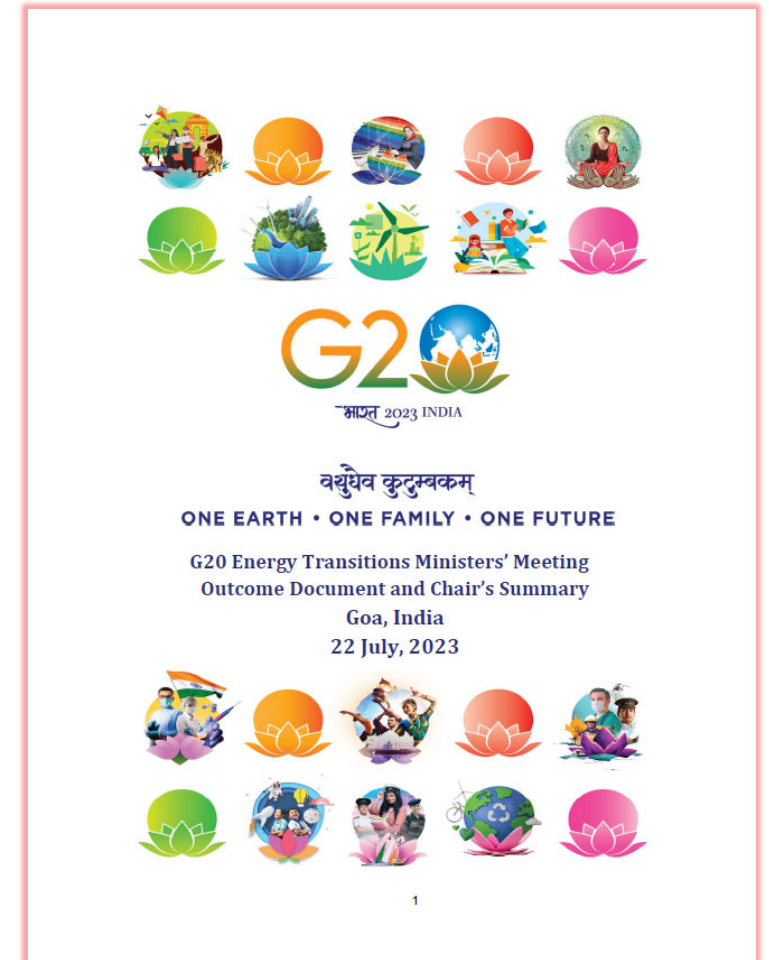


世界のなかのG20 (2020年)

TES = 一次エネルギー供給

エネルギー転換大臣会合

- 2023年7月22日にインド・ゴアでエネルギー転換大臣会合を開催。
- 計29項目からなる成果文章を作成。
 - このうち1-20、および28-29番の項目で各国が合意。
 - 21-27番の7項目は合意に至らず、議長総括として整理。
- キーワードは“One Earth, One Family, One Future”



どの点で合意をしたのか？

1. エネルギー転換の多様な道筋を確認。
(#1, 2, 7)
2. エネルギー転換と同時に、エネルギー安全保障、エネルギーへのアクセス、市場安定化、低廉なエネルギー供給を進展させる必要。
(#2, 3, 6, 7, 13)
3. 気候変動対策では「共通だが差異のある責任」を確認。 (#2)
4. エネルギー転換には（半導体関連を含む）特定の技術や鉱物資源の供給網の維持が必要であること、そのためには各国の主権を尊重しつつも、市場経済の原則国際貿易のルールに従うべき。 (#4)
5. 技術開発とその移転、人材育成の拡大。
(#4, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18)
 - 次の技術を例示：太陽光、風力、揚水発電、地熱、バイオ燃料を含むバイオエネルギー、ヒートポンプ、CCUS、水電解装置、BECCS、DAC、燃料電池、蓄電池、SMRを含む原子力、水素、アンモニア
 - Green Hydrogen Innovation CenterをInternational Solar Allianceの下に創設。
 - Global Biofuel Allianceを創設。
6. 分野別の取り組み
 - 国際送電接続の強化 (#5)
 - 省エネの強化 (#8, 9)
 - エネルギー多消費産業の脱炭素化 (#10)
7. 資金供給の拡大、低コストな資金へのアクセス
(#4, 19, 20)

見方が分かれたものは何か？

1. 未対策の化石燃料利用の漸減（phase down）と除去技術（CCS）活用の対立。（#24, 25）
2. 先進国による資金供給に関する合意の順守。（#26）
（於、2009年COP15：2020年までに資金支援を毎年計1,000億ドルに増やす）
3. ロシアによるウクライナ侵攻、エネルギーを威圧的な道具として利用することへの批判。
（#21、#27）
4. 次の2点も議長総括の扱いとなっているものの、争点は不明。
 - エネルギー価格の安定化に向けて、透明で安定、競争的な国際市場が必要。（#22）
 - エネルギーアクセス向上の手段としての分散型再生可能エネルギーの役割。（#23）

G7日本やG20インドネシアとの違いは？

	G7気候・エネルギー・環境大臣会合 2023年4月 札幌	G20エネルギー転換大臣会合 2022年9月 バリ
共通点	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー転換の多様な道筋 エネルギーの安定供給や価格の安定化の必要性 重要鉱物の供給網強靱化 	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーの安定供給や価格の安定化の必要性 重要鉱物の供給網強靱化 共通だが差異のある責任の確認 エネルギーアクセス グリーン技術の普及拡大 資金供給
相違点	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題（生物多様性、廃プラなど）と気候危機に紙面の多くを割いている。 「アクセス」と「低廉性」への言及は極わずか（それぞれ1単語のみ）。 バイオ燃料への言及はわずか。 石炭火力のフェーズアウトに繰り返し言及。 CCUSの必要性を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 気温上昇抑制目標値を明記。その達成に向けた行動の加速を明記。